# 第15回 日本小児血液・がん学会 合同 / がんの子どもを守る会 共同開催

# 日本小児がん看護学会学術集会のご案内

- 会期 2017年**11**月**9**日(木)~**11**日(土)
- 会場
  ひめぎんホール(愛媛県県民文化会館)
- 会 **薬師神 裕子** (愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 小児発達看護学)



演題募集のご案内

第 15 回日本小児がん看護学会学術集会のプログラム及び第 59 回日本小児血液・がん学会学術集会、第 22 回がんの子どもを守る会公開シンポジウムとの合同プログラムをご案内いたします。みなさまの参加をお持ちしております。

# 第1日:平成29年11月9日(木)

◆特別講演(合同プログラム) ◆

「病気の子どもになぜ教育が必要なの? ~涙も笑いも、力になる~」

副島 賢和 (昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授/昭和大学病院内「さいかち学級」 担任)



# 第2日: 平成29年11月10日(金)

◆ 看護教育講演 ◆

「小児がん経験者の長期フォローアップにおいて看護師に期待する役割」

石田也寸志 (愛媛県立中央病院小児医療センター 医師/センター長)

◆ 看護海外招聘講演 ◆

[The personal and professional gains of obtaining pediatric hematology/oncology nursing certification]

Colleen Nixon, MSN, RN, CPHON, Hematology/Oncology Clinical Educator (Boston Children's Hospital and Dana Farber Cancer Institute)

◆ シンポジウム (2学会合同シンポジウム) ◆

「笑顔のたねパートII |

- 1) 難病を患う子どもたちと、それを支える家族のために
- 2) すべてのこどもにこども時間を~クリニクラウンのかける笑顔の魔法~
- 3) 地域社会が支える子どもホスピス、という挑戦
- ◆ 日本小児がん看護学会委員会主催セミナー ◆
  - 1) ケア検討委員会 「きょうだい支援について」
  - 2) 学術検討委員会 「みんなで SIOP2018 に参加しよう!」



# 第3日:平成29年11月11日(土)

◆ パネルディスカッション(合同プログラム) ◆

「小児緩和ケアにおける医師と看護師の協働」

◆ 看護シンポジウム ◆

「そのケア、どうしてる? 困ったときの看護ネットワーク ~ケアの些細な疑問を解決し, 学び支えあう~」

#### ◆ シンポジウム (多職種シンポ) ◆

「小児がん患者の治療中の QOL の向上を目指して」

- 1) 治療中からのリハビリテーション
- 2) 治療中の歯科ケア
- 3) 治療中の栄養管理
- 4) 入院早期からの心理社会的支援
- 5) 入院中の苦痛緩和と生活環境づくり

#### ◆ 看護ミニワークショップ ◆

「骨髄移植を受けた子どもをもつ家族への支援」

#### ◆ 日本小児がん看護学会委員会主催セミナー ◆

- 1) 教育委員会 「小児看護における End of Life Care」
- 2) 看護政策委員会 「小児がん看護の専門教育制度に関する提案

一第3期がん対策推進基本計画を基盤とした政策との関連から一」

#### ◆ 公開合同ワークショップ ◆

「小児がんおよび AYA がん患者の長期フォローアップの現状と展望 ―長期フォローアップ体制整備事業の開始を受けて一」

- 1) 基調講演 (Keynote Lecture)
- 2) 長期フォローアップに関する問題点
- 3) 長期フォローアップに対する対策
- 4) 看護の立場から
- 5) AYA がん患者の問題
- 6) 患者の立場から

#### ◆ 公開講演 ◆

「みんな地球に生きるひと ~子どもの未来を考える~」 アグネス・チャン (歌手・エッセイスト・教育学博士 [Ph.D])



#### ◆ 3団体合同公開シンポジウム ◆

「思春期・若年成人(AYA世代)期発症のがん医療環境を考える」

- 1) AYA がんの医療環境-医療機関調査の結果を元に-
- 2) AYA がん生殖医療の現状
- 3) AYA がん患者への支援の現状と課題 看護師調査の結果を元に一
- 4) AYA がん患者のニーズ
- 5) AYA がん患者の教育の実態-高校教育及び大学の支援の現状-
- 6) AYA がん患者の就労-新規就労を中心に

# ご挨拶

第 15 回日本小児がん看護学会学術集会会長 薬師神裕子

このたび、第15回日本小児がん看護学会学術集会を、2017年11月9日(木)~11月11日(土)の3日間にわたり、愛媛県松山市(ひめぎんホール)において、「子どもと家族の歩む道をともに拓く」のテーマで開催することとなりました。本学術集会が四国で開催されるのは初めてであることから、四国遍路の"同行二人"をイメージし、「小児がんを持つ子どもと家族が今おかれている苦悩を乗り越え、明日につながる道を切り拓き、未来に向かって進む子どもと家族に寄り添いともに歩む」といった看護者の支援の姿を、本学術集会のテーマとしました。

現在、第3期がん対策推進基本計画の骨子案には、小児がん・AYAがん対策の推進が盛り込まれ、小児がん患者をとりまく環境は大きく変化することが予測されます。今回の学術集会では、子どもと家族とともに歩み続けられる新たな看護者の役割や支援方法について、みなさんと一緒に問い直したいと考えております。

愛媛には道後温泉、松山城、坊っちゃん列車、子規記念博物館、四国遍路など、四国・愛媛ならではの豊かな自然が 創り出す風景と、愛媛生まれのおいしい特産品に出会えます。多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

# 演題募集のご案内

#### 応募資格:

要件	内容	期日	問い合わせ先
会員資格	演題投稿者は、共同演者も含めて、全員が「日本小児がん看護学会」または「日本小児血液・がん学会」いずれかの会員であること。	人	日本小児がん看護学会 http://jspon.sakura.ne.jp/contact/
会費の納 入	平成 29 年度会費の納入手続きを支払うこと。	納入締め切り 2017年9月22日 (金)	日本小児血液・がん学会 http://www.jspho.jp/

※御手続きが完了しない場合、演題の取り消し又は氏名を削除させて頂く場合がございます。ご了承ください。 ※入会手続きならびに年会費納入方法等の詳細については、各学会ホームページをご参照ください。

発表形式:一般演題(□演、ポスター)を募集します。詳細はホームページをご確認ください。

演題応募方法:学術集会ホームページからのオンライン登録(UMIN)のみ受け付けます。

ホームページに掲載されている演題募集要項をご一読の上、要領に従って必要情報をご登録ください。

演題受付期間: 2017年5月10日(水)  $\sim$  6月15日(木) 学術集会HP: http://www.c-linkage.co.jp/jspho-jspon2017/

# 会場アクセス図



#### 会場:ひめぎんホール

http://www.ecf.or.jp/himegin\_hall/ 〒790-0843 愛媛県松山市道後町 2-5-1 TEL:089-923-5111

#### JR松山駅から

- 伊予鉄市内電車(道後温泉行) で約15分 南町・県民文化会館前で下車
- □ 伊予鉄バス(道後温泉駅前行) で約20分

#### 松山市駅から

- 伊予鉄市内電車(道後温泉行) で約10分 南町・県民文化会館前で下車
- □ 伊予鉄バス(道後温泉駅前行) で約15分

#### 松山空港から

- 伊予鉄バス(道後温泉駅前行) で約40分
- 🔲 リムジンバスで約30分

#### 松山観光港から

- □ 伊予鉄バス(道後温泉駅前行) で約45分
- □ リムジンバスで約35分 南町・県民文化会館前で下車

# 参加登録のご案内

今年度は事前参加登録はございません。直接 会場にお越しいただき、参加登録をお願い致 します。

医師	15,000円		
看護師	10,000円		
医師·看護師 以外	5,000円		
学部学生 (学生証提示)	無料		
细地人分加弗	2 000 FB		

懇親会参加費 2,000円

※詳細は学会 HP にてお知らせいたします。